

中学地理プリント（過去問類似）

アフリカ州

名前

得点

/8

問1 2013年の統計におけるカカオ豆の世界シェアについて、31.6%を占めるコートジボワールに次いで、第2位の18.2%を占めている国はどこですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. ガーナ 2. カメルーン 3. ナイジェリア 4. インドネシア

問2 ナイジェリアのように、輸出総額の大部分を原油や石油製品などの特定の資源に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済構造を持つ国が抱える課題についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。 2. 人口が多いため国内での資源消費量が多くなり、輸出に回す余力がなくなる。 3. 特定の資源の採掘に特化することで、他国との貿易摩擦が激化しやすくなる。 4. 工業化が進んでいないため、原油を精製して石油製品として輸出することができない。

問3 ナイジェリアのように、特定の鉱産資源や農作物の輸出に頼り、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼす経済構造を何と呼びますか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済 2. 加工貿易 3. 自由貿易体制 4. ブロック経済

問4 世界の食料問題に関連して、アフリカで食料不足の懸念が特に強い理由を、人口と穀物生産の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 人口一人あたりの穀物生産量が、アジアやヨーロッパなどの他地域と比較して著しく低い。 2. 穀物の総生産量は世界で最も多いが、そのほとんどを他国へ輸出している。 3. 人口が急激に減少しており、農村部での労働力が不足して耕作放棄地が増大している。 4. 砂漠化の影響で耕作面積が世界で最も狭く、穀物を全く生産することができない。

問5 ケニアやエチオピアなどの東アフリカ高地で見られる、特定の農産物を大規模に生産し、主に先進国などへ販売することを目的とした農業の性質を何と呼びますか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 商品作物の栽培 2. 自給用作物の栽培 3. オアシス農業 4. 地中海式農業

問6 ガーナで見られる、輸出をカカオなどの特定の品目に頼る経済構造にはどのようなリスクがありますか。その説明として最も適切なものを選んでください。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 天候による作柄や国際価格の変動が、国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。 2. 特定の作物しか栽培しないため、国内の労働力が不足し失業率が低下する。 3. 外国からの投資が過剰になり、国内の物価が常に下落し続ける。 4. 輸出額が安定しすぎると、新しい産業が育たなくなる。

問7 アフリカ大陸の最南端に位置し、海上交通の要衝として発展した国の歴史的背景について述べた文として、正しいものはどれか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 19世紀前半にイギリスの植民地となり、1961年に独立した後は英語を公用語の一つとして用いている。 2. 1776年に独立を宣言し、広大な国土を活かした農業と先端技術産業で世界経済をリードしている。 3. ポルターと呼ばれる大規模な干拓事業を行い、19世紀にはその技術を背景にヨーロッパの強国となった。 4. 1917年の革命により君主制が倒れ、その後は一貫して社会主義による経済運営を続けている。

問8 日本とアフリカ東部のケニアとの間には6時間の時差があり、日本の方がケニアよりも6時間進んでいます。日本の標準時子午線が東経135度であることを踏まえ、地球が1時間に15度回転する仕組みを利用して計算した場合、ケニアで使用されている標準時子午線の経度として正しいものはどれですか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 東経45度 2. 東経15度 3. 東経75度 4. 西経45度

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ガーナ	ギニア湾沿岸に位置するガーナは、カカオの生産において世界的なシェアを誇ります。同じ西アフリカのコートジボワールとともに、世界のカカオ生産の大部分を担っていますが、特定の農産物に依存する経済からの脱却が経済成長の鍵とされています。
問2	答え 1 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。	モノカルチャー経済は、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を指します。ナイジェリアの場合、輸出の9割以上が石油に関連する資源であるため、世界情勢の変化などで原油価格が暴落すると、国家の財政や国民の生活が極めて不安定になるというリスクを抱えています。これを克服するために、産業の多角化が課題となっています。
問3	答え 1 モノカルチャー経済	特定の少数の産品に経済を依存する仕組みをモノカルチャー経済と呼びます。ナイジェリアは石油資源が豊富である一方で、世界的な原油価格の下落が国内の財政悪化に直結しやすいというリスクを抱えており、産業の多角化が国家の課題となっています。
問4	答え 1 人口一人あたりの穀物生産量が、アジアやヨーロッパなどの他地域と比較して著しく低い。	アフリカでは人口増加のスピードに対して、灌漑（かんがい）設備の不足や技術的な遅れ、さらに気候変動の影響などによって農業生産性の向上が追いついていません。統計上も、アジアが人口の約3倍、ヨーロッパが人口の約7倍近い数値の穀物生産量（トン）を確保しているのに対し、アフリカは人口と生産量の数値が近く、一人あたりの生産量が他地域より圧倒的に少なくなっています。この「一人あたりの生産量の低さ」が、食料自給の不安定さと飢餓のリスクに直結しています。
問5	答え 1 商品作物の栽培	自分たちが消費することを目的とした「自給用作物」の栽培に対し、茶や切り花、コーヒーのように、市場での販売や輸出を目的として栽培される作物を「商品作物（輸出用作物）」と呼びます。東アフリカの高地農業は、航空便などの輸送インフラと結びつき、世界市場をターゲットにした近代的な経営が行われている点が大きな特徴です。
問6	答え 1 天候による作柄や国際価格の変動が、国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。	モノカルチャー経済では、その作物が不作になったり、世界市場での取引価格が暴落したりすると、国全体の輸出収入が激減してしまいます。自国で価格をコントロールできないため、経済の安定性が低く、持続的な発展を妨げる要因となることがあります。
問7	答え 1 19世紀前半にイギリスの植民地となり、1961年に独立した後は英語を公用語の一つとして用いている。	南アフリカ共和国は、大西洋とインド洋を結ぶ海上交通の重要な拠点であったことから、古くから列強の関心の的となりました。19世紀にはイギリスの植民地となり、長年の支配を経て1961年に独立を達成しました。かつての植民地支配の影響により、現在も英語が公用語の一つとなっており、この言語的利点を活かして外国企業の積極的な誘致を行うなど、アフリカ経済を牽引する役割を担っています。
問8	答え 1 東経45度	時差は経度15度につき1時間生じるため、6時間の時差がある場合は15度×6＝90度の経度差があることとなります。日本（東経135度）よりもケニアの方が時刻が遅いため、ケニアは日本よりも西側に位置します。したがって、135度から90度を引いた値である東経45度がケニアの標準時子午線となります。